ナイス福岡 会報

自然感 くすのき

2021年12月
第317号

この季節、木々の枝先には色とりどりの実が食べごろになっています。小鳥たちが、せっせと栄養補給しています。aiko

お問合せ：　福岡県自然観察指導員連絡協議会
（NAIS Fukuoka：The Nature Interpreter Society of Fukuoka）
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作･山本勝･松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113　福岡市城南区田島３丁目７番14号
田村の自宅内　TEL　：090-8220-6160
URL：http://www.kurabird.com/

掲示板 URL: http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会（123回）

日時：１２月18日（土）10時から12時

の予定です。公園の利用が10/１から可能になりました。

【連絡先】　担当：田村　耕作
TEL 090－8220－6160〔田村の携帯〕

注意　各団体とも、新型コロナウィルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会　福岡支部　主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

１２月１９（日）１月１６日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時　間：9:00～12:00
集　合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

１２月２６日（日）１月２３日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時　間：9:00～12:00
集　合：久末ダム多目的広場横
　　駐車場　（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

１月２日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時　間：9:00～12：00
集　合：玄洋高校西側道路
問合せ:090-8220-6160（田村耕作）

１月８日（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時　間：9:00～12:00
集　合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

１月９日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時　間：9:00～12:00
集　合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

１月４日（火）
県営春日公園（春日市）
時　間：10:00～12:00
集　合：音楽堂ステージ側（第５Ｐ）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会　筑後支部

１２月２６日
久留米城跡・筑後川
時　間：9：00～
集　合：久留米城内篠山神社本殿前
問合せ:090-4357-3043（溝田康博）
参加費：会員 100 円　一般 200 円
　　高校生 100 円
　　（中学生以下無料）

福岡植物友の会

１月の予定は、お問い合わせください。
問合せ：佃　昇（092-662-2983）
要予約　参加は有料

ジョロウグモ卵嚢の糸の一部　三国・松永

久留米の自然を守る会

お問い合わせください
問合せ：0942-43-7959（河内）

三国丘陵の自然を楽しむ会　主催

http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/

１月８日（土）
集　合：九州歴史資料館駐車場
時　間：9:30～12:00（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ　「三国丘陵の自然を楽しむ会」で検索
観察会や様々な生きもの情報を載せて

三国丘陵の自然を楽しむ会　観察の様子

スゴモリハダニの巣　三国・松永

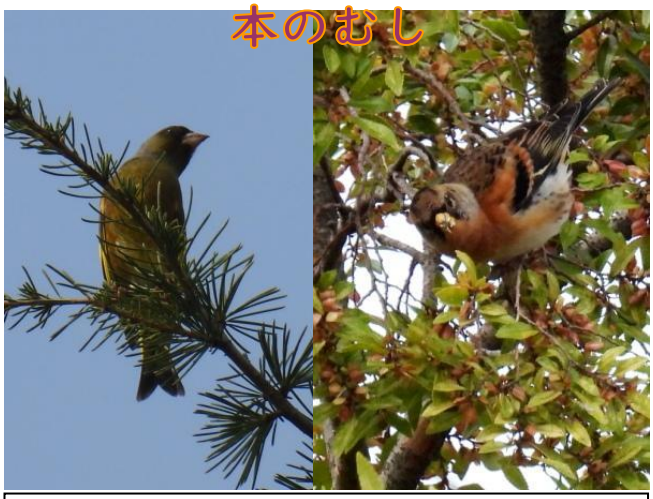
和白干潟を守る会　主催

１２月１８日（土）
定例会議
時　間：12：30～14：00
集　合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

１２月１８（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時　間：15：00～17：00
集　合：海の広場　駐車場なし
　　長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

２０２１年１１月
私のデジカメ日誌より
本のむし

今回は、11月1日(旧暦9月27日)～11月30日(旧暦10月26日)までのデジカメ日誌です。



11月2日(旧暦9月28日)　春日市春日公園
春日公園探鳥会に参加した。旧暦でいえば晩秋か。色鮮やかな小鳥たちに出会えた。カワラヒワ、アトリ、ジョウビタキ、キクイタダキ･･･冬支度に忙しい。

11月2日(旧暦9月28日)　春日市春日公園
この時期のオオスズメバチは、殆どが♂だという。♀(女王バチ)との出会いを待っているのか？　それにしても樹液を舐めるのに夢中なようで、かなり近づいても反応しない。･･･オスなら毒針はないが、危ない危ない！

11月5日(旧暦10月1日)　筑紫野市山口･天拝湖
オシドリにとって、水際に枝を伸ばすカシなどの団栗林は越冬地の安住の場である。今飛び上がったこのメスは、このあと右の樹の高い所の団栗を狙った。

11月5日(旧暦10月1日)　筑紫野市山口･天拝湖
ヤマセミの♂である。キャラララキョッキョッとけたたましく現れた。天拝山周辺では、過去に二度ほど観た事があったが久しぶりだ。4Km ほど上流の山神ダムとの間を行き来しているのだろう。

11月19日(旧暦10月15日)　北九州市八幡区皿倉山
満月のこの日、旧暦でも15日となった。そんな日に起きた部分月食である。18:17 に撮影したもの。赤銅色の月が不思議な存在感を示している。右下の明るい部分と帯食部分の間にトルコブルーが見えると聞いたが、よくわからなかった。

10月28日(旧暦9月23日)　筑紫野市二日市八幡宮
イチョウの落葉。扇を開いたような葉の形は不思議に思う。葉の細胞を作る部分が、葉の先にあると聞いた。サクラ等の楕円の葉はその部分が、葉の付け根であるという。イチョウは原生樹種では世界最古･生きた化石。日本には千年以上とされる古木があるが、？とされ、まだ未解決。

会員からの投稿（1） 渋田和美

久しぶりに帽子が綺麗についたままのどんぐり坊やを拾いました。
かわいいなあと、持ち帰ったら、お家で帽子がぽろりと取れちゃいました。
お家に上がるときは帽子を取るんですよ、とどんぐり坊やに言った覚えはないのだけどなあ…
11/28 津屋崎にて

会員からの投稿（2）

窓越しの自然観察 45　　～ 一期一会 ⑲ ～

十月に入っても三十度を越す気温が月半ば近くまで続き、数日後には朝の気温八度まで急落、樹木達は慌てたに違いありません。衣替えは急ぎ進み殊の外色合いは複雑で深く、変化も例年より早く数日間の移ろいも、見飽きる事なく此れまでより美しく感じたのは自分だけでしょうか。散り終わった枝にびっしり残るイロハモミジの実は、まさに青空の星くず（？）、サンシュユ、ウメモドキ、ナンテン、クチナシ、マンリョウの赤白は、年の瀬近しを教えています。　　（ダムサイト住人 2021/12/7 記）

会員からの投稿（3） 田村耕作

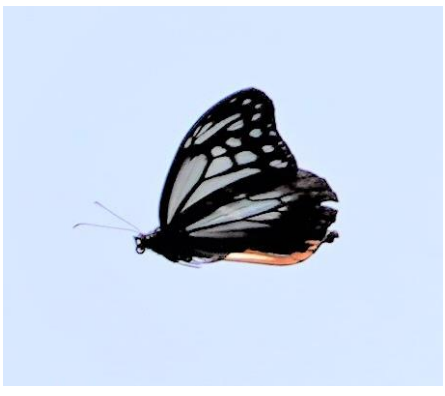
伊藤純子さん（nacs -j 会員）からの情報で、立花山にキジョラン（ガガイモ科）を見に出かけた。その葉を探し、虫に食べられたような跡があると、アサギマダラの幼虫あるいは卵がいないか、探しました。

長谷ダム公園から立花山山頂まで、野鳥の声に耳をすましつつ、目でキジョラン探しつつの散策でした。見かけた葉の１割位かな、卵か幼虫を見かけました。

アサギマダラの卵

幼虫（2 齢）
撮影：11/8　伊藤純子

この秋、片江展望台で渡るアサギマダラをたくさん見かけました。
10 月下旬、能古島の散策中に飛んでいるアサギマダラを、凡そ 20 頭ほど見かけたのです。関心の深いハチクマの渡りの時期と重なるように、アサギマダラが出現します。従って、自然と興味が湧いてくるのです。



10/25　能古島　ツワブキの花に止まるアサギマダラ、上空を飛翔する姿　　セイタカアワダチソウの花で

春日公園自然観察会　令和 3 年 11 月 20 日（土）【参加者数】3 人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～カスケード～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。
観察内容、秋の紅葉と種を中心に観察
植物　タチスズメノヒエ、メヒシバ、アキニレ、トウカエデ、エノコログサ、サルスベリ、ネジキ
野鳥　メジロ、エナガ、コゲラ、キジバト、スズメ、ハクセキレイ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、モズ、
リュウキュウサンショウクイ、シロハラ、ジョウビタキ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、
その他の生きもの　ウラギンシジミ、ヨコヅナサシガメ

感想（参加者の声）

・メヒシバの花、観察ができた。小さな花に感動した。
・アトリ科の鳥たちが食べに来るアキニレの種を観察できて、良かった。
・モミジバフウ（アメリカフウ）の紅葉が印象に残った。

ウラギンシジミ

観察会風景

実態顕微鏡で花を観察

メヒシバの花

アキニレの種

トウカエデの種子

コブシの種（糸で結ばれている）

ネジキの実

ネジキの種

エノコログサの種の様子

２０２１年１１月２０日、紅葉した木の集まりと噴水台

生田哲朗さん（春日公園で活動している）から情報の提供

アマミサソリモドキ？

11 月 15 日。場所は糸島の二見浦、二見浦霊園内。死んだ状態で見つけました。
ペットとして飼育していたものか、何かについてきたのか不明。
温暖化で北上していたら怖いですよね。

編集部：　日本列島の固有種で有り、九州南部から奄美群島まで自然分布。

従って、国内外来種かな。

朝日新聞の夕刊（２０２１年11/4の記事）から

友達のはりねずみ
ナール

月･火･水曜 地域発　**木曜 朝デジから**　金曜 世論調査

朝デジから

文豪に憧れる子猫
マダニャイ

海鳥の半数からプラ添加剤

北極など16カ所調査 免疫に影響も

日米などの国際研究チームが世界16カ所で海鳥145羽を調べたところ、半数以上の76羽の体内から、プラスチックの耐久性を高めるために加えられた添加剤の成分が見つかった。一部の添加剤は生物の免疫などに影響することが指摘されており、研究チームはプラスチックごみの削減や無害な添加剤への転換を訴えている。

プラスチック製品には、燃えにくくする臭素系難燃剤や、日光による劣化を防ぐ紫外線吸収剤が添加される。添加剤は分解されず、海鳥の体内にたまることがわかっていたが、汚染がどのくらい広がっているのかは不明だった。

日本、アメリカ、オーストラリア、南アフリカなど国内外18大学・研究機関が共同で、北極や南極、赤道などで海鳥32種を調べることに。鳥を傷つけないよう、海鳥が尾羽の付け根から出し、羽に塗る脂「尾腺ワックス」を調べた。

すると、52%にあたる76羽の尾腺ワックスから添加剤が。とくにハワイのシロハラミズナギドリやオーストラリアのアカアシミズナギドリなどで濃度が高かった。日本では新潟県の粟島でオオミズナギドリ17羽を調べ、うち３羽から低濃度の汚染が見つかった。今回、分析した海鳥の10〜30%はプラごみを誤って食べたことで汚染されたとみられる。

世界各地の海鳥の半数にプラスチック添加剤による汚染が広がっていることが明らかになった

海鳥が誤って食べるプラごみの量と、血中尿酸濃度には関係がある。東京農工大の高田秀重教授は「紫外線吸収剤はプラスチックに必須。生物蓄積性と毒性がない添加剤への転換を図ることが必要」としたうえで「それ以上に必要なのは、プラスチックの使用量を減らすことと、陸上での廃棄物管理をしっかりすること」と指摘した。

（小堀龍之）
＝10月11日配信

便利さの陰の部分、よくよく考えていかねばならない重要な情報だと思います。一人一人の行動を考え、そして行動しましょう。田村耕作

◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆

会費振込について

会計年度は６月から翌年５月末までです。会員の皆様、２０２１年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000円　　郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、**令和４年１月14日（金）午後２時**より事務局で行います。令和４年１月号の原稿は、1／11（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆

編集後記　2021年11月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

12/4（土）の午後晴れ、気温10℃自宅の周辺を散策。冬鳥のジョウビタキ、シロハラ、コガモ、オオバンと例年の種が楽しめる時期になりました。林内で赤い実が目立つセンリョウに出会いました。冬の花、スイセンが２輪咲いていました。蕾もありました。この５日前、能古島を散策した折には小さな蕾を見かけたのですが、花には出会えなかったです。近くの公園で冬の季節を、目と香りで感じた次第です。人の考えた暦とは別に、スイセン自身の感覚でこの時期に花を咲かせている。生きものの季節感、鋭いですね。

撮影：2021.12/4　福岡市城南区田島の公園にて